

子どもが、未来を創る。

YMCA国際協力募金

ご協力のお願い 第2報

11月1日よりご協力をお願いしております国際協力募金でございますが、皆様の温かいご支援のもと、たくさんの募金が集まっております。また、11月23日に行いました街頭募金活動では、YMCAの各活動に参加している子ども達を始め、高校生ボランティア、大学生ボランティアリーダーが、インドの子どもたちのために大きな力を発揮してくれました。様々な形で募金活動にご協力頂き、心より感謝申し上げます。

今年度の国際協力募金は2020年1月31日まで受け付けております。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力の程、宜しくをお願いいたします。

2020年度 目標金額と現状

～目標金額～

街頭募金→20万円

個人募金→10万円

計→30万円

～12月13日時点～

街頭募金→244,235円

個人募金→132,270円

計→376,505円

多くの募金にご協力頂き有難うございます。目標額は達成されましたが、より多くの子どもたちへの支援、より長い支援のため、引き続き、ご支援ご協力を頂ければ幸いです。何卒宜しくお願いいたします。

11月23日に行った国際協力街頭募金の様子です。



募金使途:セント・ボニファス・アンバハムへの支援

募金方法

1. 郵便振り込みにて募金する。

専用の払い込み取扱票を用いてお振込みいただくか、下記の口座にお振替下さい。

【振込先】郵便振替口座：02290 - 9 - 54655 加入者名：盛岡YMCA
※通信欄に（YMCA国際協力募金）とお書きください。

2. 盛岡YMCA各プログラムにて募金する。

プログラム会員の皆様には募金箱（小）、募金用封筒を11月に第1報をお渡しした際に同封させていただいております。募金にご協力いただける方はご利用ください。

※募金箱等がご入用な方は、スタッフまでお声がけ、もしくは事務局あてにご連絡ください。

1人の子どもの1年間
セント・ボニファス・
アンバハムで支援を受けながら生活する事が出来ます。

3,000円のご支援で...

ご理解とご支援の程
宜しくお願い致します。

盛岡YMCA 国際協力 事務局 担当：小川嘉文

※国際協力募金活動に関するお問い合わせはこちらまでお寄せ下さい。

■住所：岩手県盛岡市向中野2丁目39-6 ■TEL：019-601-6 099

■メール：ogawa@moriokaymca.org ■携帯：080-3094-5468

■ホームページ：<https://www.moriokaymca.org>

国際協力募金とは

YMCA国際協力募金は、全国のYMCAが共同して毎年実施されています。昨年度は全国のYMCAで45,879,789円の募金が寄付されました。こうした募金は、YMCAのグローバルなネットワークを生かし、ミャンマー（公衆衛生活動）、カンボジア（チャイルドケア）、タイ（児童保護活動）、ベトナム（学校建設）等」、世界各国のYMCAにおける支援活動に使われています。

2019年度の盛岡YMCAの募金活動による益金は、日本YMCA同盟を通して、インドのタミルナドゥ州にあるセント・ボニファス・アンバハムへの支援とさせていただきます。

盛岡YMCAのこれまでの支援

- ・アフガン難民のための学校設立運営支援（2001年～2012年）
- ・タイ農村部における人身売買から子供たちを守るプロジェクトへの支援（2007年～2012年）
- ・フィリピン台風30号被災者支援（2013年）
- ・日本YMCAを通じた世界各国での支援（2014年～2018年）

これからの支援は、日本YMCA同盟、また支援先とのつながりを持つ国内のYMCAと共同し行ってきました。

セント・ボニファス・アンバハムにビリケンリーダーが行ってきた！！

インドのセント・ボニファス・アンバハムに行ってみてまいりました、ビリケンです。

セント・ボニファス・アンバハムというのは、親が居なかったり、貧しくて家族と一緒に過ごせなかったりする子どもたちを集めて衣食住・通学などの支援している施設です。インドではカースト制度という身分制度があり、それを元にした差別が強く根付いているそうです。そんなカーストの中にすら入っていない、アウトカースト・不可触民と呼ばれる子どもたちもセント・ボニファス・アンバハムで生活しています。もしセント・ボニファス・アンバハムがなかったら、彼らはボロボロの服を着て、裸足で、お金を稼ぐため路上を歩きまわる生活をするようになっていたかも知れません。

セント・ボニファス・アンバハムにいる子どもたちは辛い背景を持った子たちですが、とてもとても元気で人懐っこい子どもたちです。会うたびに笑顔で駆けよって来てくれて、元気をもらっていました。

今回盛岡YMCAの国際協力募金で寄せられた募金が、セント・ボニファス・アンバハムに送られるということで私たちにもできる支援のチャンス을いただき本当に有難い気持ちでいっぱいです。

ご協力くださった皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです。

現在財政難に立たされているセント・ボニファス・アンバハムですが、本当になくなってしまったらたくさんの子供たちの居場所が無くなってしまいます。ぜひ皆さんにご協力いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

岩手大学 教育学部 4年 尾河芽生(ビリケンリーダー)

